

## 第16回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会

日時 令和6年6月17日（月）

場所 Web開催

○事務局（佐藤） それでは、定刻となりましたので、会議を開始いたします。

YouTube配信を開始いたします。配信をお願いいたします。

これより山本委員長に進行をお願いいたします。山本先生、よろしくをお願いいたします。

○山本委員長 それでは、定刻となりましたので、ただいまより、第16回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、御多忙の折、御参加ありがとうございます。

最初に、委員の出欠状況について、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局（佐藤） 老健局老人保健課の佐藤でございます。

本日は御参加いただき、誠にありがとうございます。

本日、齋藤委員は欠席でございます。

開催要件を満たしていることをここに御報告いたします。

本日は公開の議題がございまして、YouTube上でのライブ配信を行っております。申出の個別審査は非公開の議題ですので、審査の前にYouTubeのライブ配信を終了いたします。あらかじめ御了承願います。

本会議はアーカイブ配信をいたしませんので、会議開催時間帯のみ視聴可能です。

議事録作成のため、事務局にて録音をさせていただきますので、御了承をお願いいたします。議事録作成後に音声ファイルは消去いたします。

なお、YouTube配信を御視聴の方におかれましては、配信画面あるいは内容を許可なくほかのウェブサイトや著作物等へ転載することが禁止されておりますので、御留意いただきますようお願いいたします。

続きまして、資料の確認をいたします。議事次第のファイルをお開きください。本日の議事と資料一覧が記載されております。資料はお手元にございますでしょうか。

本日の資料を画面表示して御説明いたしますが、適宜事務局から送付しております資料もお手元で御参照いただければと存じます。

御不明点等ございましたら、会議のチャットに書いていただくか、御発言いただければと存じます。御不明な点はございませんでしょうか。

よろしければ、山本委員長に進行をお渡しさせていただきます。山本委員長、よろしくお願いいたします。

○山本委員長 それでは、早速本日の議事に入らせていただきます。

まず、議題1「介護DBにおけるHIC運用開始に向けたスケジュールについて」ということで、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（佐藤） 事務局でございます。

資料1「介護DBにおけるHIC運用開始に向けたスケジュールについて（案）」を御覧ください。

2ページを御覧ください。現状としまして、NDBは令和5年12月よりHICにおける特別抽出、トライアルデータセットの利用受付を開始しております。

介護DBにおいての今後の方針としましては、令和6年9月までに既存ガイドライン・様式の修正、HIC利用手数料についての検討を行い、9月の専門委員会においてそれぞれ協議、報告させていただきたいと考えております。また、これらの改定をもって、令和6年12月より介護DBにおいてHICにおける特別抽出、定型データセットの利用受付開始を目指していきたいと考えております。

3ページを御覧ください。介護DBにおいてHICを利用することによる主な利点をまとめております。利点としましては、本資料に記載のように、主に6点あるかと考えております。

4ページにつきましては、参考としてNDBの方針を記載しております。

説明は以上となります。

○山本委員長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの御説明に関しまして、御質問、御意見がありましたらよろしくお願いたします。

今村先生、どうぞ。

○今村委員 今村です。

確認なのですが、NDBのHICでは7日間ルールというものが動き始めるようにお見受けしたのですが、介護のほうはこの7日間ルールの縛りは受けるのでしょうか、受けないのでしょうか。その辺の状況を確認させてください。

○山本委員長 事務局、いかがでしょうか。

○事務局（佐藤） 御質問ありがとうございます。

介護DBにおきましては、現時点では7日間ルールにつきましては適用を考えておりません。

以上となります。

○今村委員 分かりました。

○山本委員長 ほか、いかがでしょうか。

今後、先生方に御議論いただかないといけないと思うのですけれども、今、介護DBに関しましては、提供期間の短縮を図るために定型データセットというものを提供しております。定型データセットは、基本的にはほとんど全てのデータが入っているデータセットで、その中から必要なデータを研究者に抽出していただいて研究をしていただくと。研究計画に従って抽出していただくのですけれども、もちろんそれはそれでいいのですけれども、本当に必要なデータだけ抽出しているのかはなかなか難しいところがあって、個人的にはHICを使って、きちんとこちらでログ監査ができる状態で定型データセットを使っていただくのがより望ましいように考えていて、定型データセットを導入したときに、早くHICで利用できるようになるというなと思っておりました。そういう点も含めて、今後このガイドラインの修正等を御議論願いますので、御検討いただければと思っております。

ほか、いかがでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

それでは、このように検討を進めてまいるということで、進めさせていただきたいと思っております。

それでは、本日の次の議題、議事の2「第3回介護DBオープンデータについて」に対して、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（佐藤） 事務局でございます。

資料2「第3回介護DBオープンデータについて」を御覧ください。

2ページを御覧ください。これまでの委員会でも御報告させていただいていましたとおり、第3回オープンデータの公表の準備を進めております。

3ページを御覧ください。こちらもこれまでの委員会で御協議いただきました、第3回オープンデータにおける追加項目となります。

4ページを御覧ください。先ほど御紹介いたしました追加項目について表に示したものでございます。

5ページを御覧ください。こちらが要介護認定情報の公表形式となっております、赤枠部分が新規追加項目となっております。

6 ページを御覧ください。今回新規に追加いたします2017年度をベースラインとする1年後から5年後の要介護度の変化の前向き集計の公表形式となっております。

7 ページを御覧ください。こちらがLIFE情報の公表形式になっておりまして、赤枠部分が新規の追加項目となっております。

8 ページを御覧ください。こちらが介護レセプト情報の公表形式になっておりまして、第2回のオープンデータと同様の項目となっております。

9 ページを御覧ください。事業所の秘匿ロジックの変更についてですが、これまでオープンデータでは、最小集計単位の基準に該当する場合は、集計値を「-」に置き換えており、総数から逆算を防ぐため、平均値や割合の集計を除く全ての集計値について、1の位を四捨五入しておりました。

この場合の課題として、事業所数は1と2が秘匿されて「-」となり、3と4が四捨五入によって「0」となります。なお、事業所数が3か4の集計値は令和5年度の集計には存在しないため、現状で直接の影響はございません。

10ページを御覧ください。そこで、今回事業所の3未満の秘匿をなくし、5未満とし、秘匿数値の表記としましては、これまで「-」としてきましたが、「<5」と表示させていただきたいと考えております。

下の図につきまして、現行では0は「0」、4と3は「0」、2は「-」でしたが、変更案では0は「0」、4、3、2は「<5」となります。

11ページを御覧ください。今後の方向性としましては、NDBオープンデータのマスキングの方法の変更に倣い、事業所数は秘匿対象外とすることを検討していきたいと考えております。

12ページにつきましては、参考として、ガイドラインの最小集計単位の原則を示しております。

説明は以上となります。

○山本委員長 ありがとうございます。

ただいまの御説明に関しまして、御質問、御意見がありましたらよろしくお願いたします。

今村先生、どうぞ。

○今村委員 6 ページ、2017年度をベースにして1年後から5年後の追いかの調査を出してもらおうということで、これはかねてからの御意見に基づいて出してくれて大変あり

がたいのですけれども、これは2017年度だけではなくて、2018年度、2019年度、2020年度も、4年後、3年後、2年後の変化が同じような方法で出せるはずなので、ぜひそれも出してほしいと思っています。これは5年間の1グループの変化を追いかけていっているのですけれども、その次の年のまた4年間の変化を追いかけてもらおうと、変化率の変化率が出せるので、いわゆる加速度が分かるのです。ですから、将来推計をするときには、その2つが必要になってくるので、2017年度ベースだけでなく2018、2019、2020まで出せないことはないと思うので、ぜひ出してほしいと思っています。これは今回でも出せないことはないと思っていたのですが、いかがでしょうか。

○山本委員長 事務局、いかがでしょう。

来年ではなく、今年集計してほしいということですね。

○今村委員 そうですね。同じプログラムで出せるとは思うのです。

○山本委員長 事務局、いかがでしょうか。

○事務局（佐藤） 御意見ありがとうございます。

今回のこの表に関しましては、御説明したとおり、今年初めて出す表となっております。一旦2017年度を起点としたものを出させていただき、この表の対象集団がどう変化していくのか、この表に対するニーズ等を、確認させていただき、それらを含めて来年度に検討させていただきたいと考えております。

○山本委員長 ありがとうございます。

1年検討させていただくということですが、今村先生、よろしいですか。

○今村委員 これを出してもらっているのがありがたいのですけれども、これが年度を重ねていくその変化が最も重要なので、5年前はどうでしたかということが分かるだけでもすごいのですけれども、5年前、4年前、3年前でどう変化しましたかということが、結局将来推計のためにはそれが必要なのです。ですから、先々にどうなりますかというときに必要なものなので、そこは今年難しいということだったら、来年には必ず出してほしいと思っています。よほどこれに支障がない限り、ぜひやってほしいと思っています。

以上です。

○山本委員長 ほか、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、このように今年度第3回のオープンデータの作成に進めていただくようお願いいたします。

それでは、本日の公開議事は以上となります。

個別審査に移る前に、事務局から必要なアナウンスをお願いいたします。

○事務局（佐藤） 事務局でございます。

それでは、ここからは申出者の具体的な申請内容に基づき審査を行うことから、非公開とさせていただきます。YouTube上でのライブ配信はここまでとさせていただきます。

本会議のアーカイブ配信は行いませんので、議事内容については、後日公表される議事録を御確認ください。

本日は御視聴いただき、ありがとうございました。

それでは、ライブ配信の終了をお願いします。

（これ以降は非公開）

○事務局（佐藤） 本日は御審査いただき、ありがとうございました。

御指摘のあった部分については、確認を取らせていただき、手続を進めさせていただきますと思います。

合同委員会につきましては、6月26日13時から開催予定です。

本日はどうもありがとうございました。

○山本委員長 それでは、以上をもちまして、第16回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会を終了いたします。

本日はどうもありがとうございました。

（了）